

白山

火山活動評価：静穏な状況

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

概況

・噴気などの表面現象の状況

国土交通省金沢河川国道事務所の土砂災害監視用カメラでは、山頂部に噴気は認められませんでした。その他の状況にも特に異常はありませんでした。

・地震や微動の発生状況（図 2、図 3）

白山付近を震源とする地震の発生回数は少なく、地震活動は静穏に経過しました。
火山性微動は観測されませんでした。

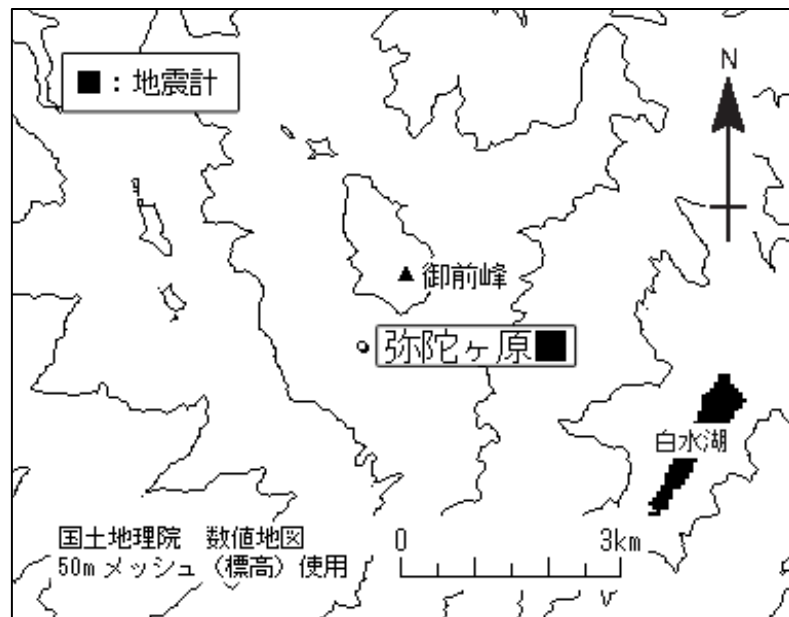


図 1 白山 気象庁の観測点配置図（小さな白丸は観測点位置を示しています）

この資料は気象庁のほか、国土交通省金沢河川国道事務所、京都大学、名古屋大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用したものです（承認番号：平 17 総使、第 503 号）。

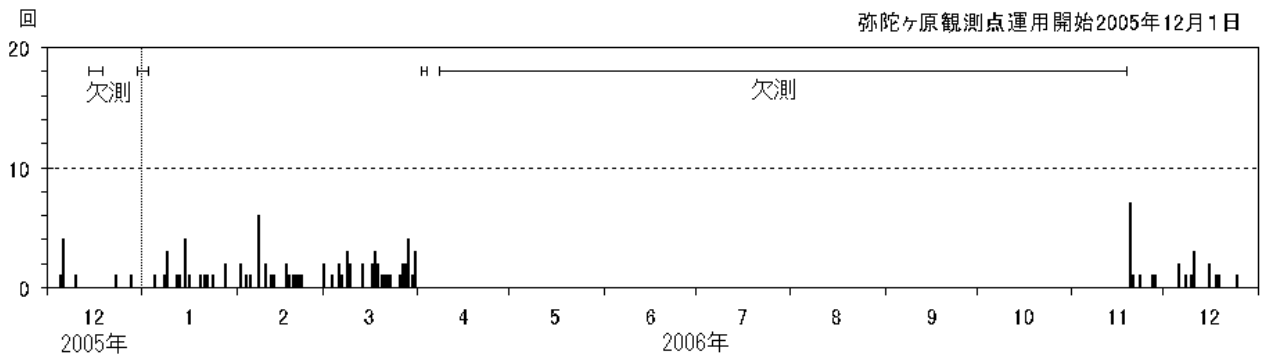


図2 白山 日別地震回数（2005年12月1日～2006年12月31日）
 弥陀ヶ原観測点の機器障害は11月20日00時に復旧しました。

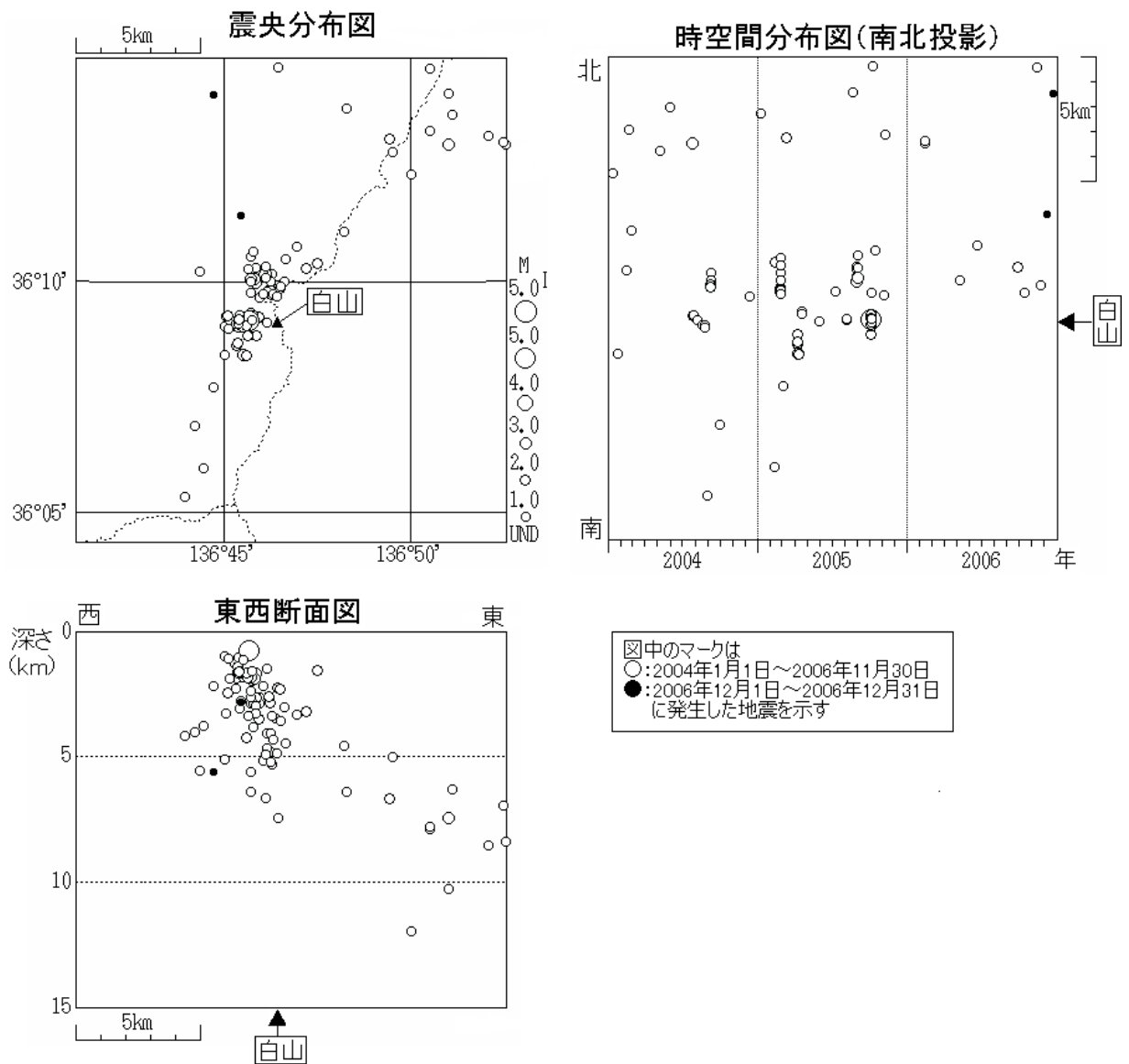


図3 白山 山体及びその周辺の地震活動（2004年1月1日～2006年12月31日）
 M（マグニチュード）は地震の規模を表します。資料中のMは暫定値で、後日変更することがあります。